

平成21年6月30日現在

研究種目：若手研究（B）

研究期間：2006～2008

課題番号：18720075

研究課題名（和文）ヘミングウェイの遺作研究：オリジナル原稿の編纂方法とその問題点

研究課題名（英文）Hemingway's Posthumous Works: Different Editing Methods and How They Deviate from His Original Manuscripts

研究代表者 杉本 香織 (SUGIMOTO KAORI)

文京学院短期大学・その他部局等・助教

研究者番号：70409613

研究成果の概要（和文）：

本研究では、ヘミングウェイの死後出版作品のマニュスクリプト研究を通じて、遺族や出版社による編纂方法とその問題点を指摘し、ヘミングウェイが生前目指した独自の自伝的アプローチの様相を明らかにした。3年間の研究期間で遂行した作品は、計4作品（『海流の中の島々』『エデンの園』『移動祝祭日』『危険な夏』）。本研究の採択前に研究を終えていた『夜明けの真実』の考察と併せ、最終的にはヘミングウェイの死後出版作品群（長編小説）全体の総括を行った。

研究成果の概要（英文）：

In this project, I focused on four posthumous works written by Ernest Hemingway: *Islands in the Stream*, *The Garden of Eden*, *A Moveable Feast* and *The Dangerous Summer*. Based on my research at the Hemingway Collection in Boston, where his original manuscripts are kept, I accomplished two things. First, I defined different editing methods and how they deviated from his original manuscripts by comparing an original manuscript with its corresponding published text. Second, I clarified some of the struggles Hemingway went through when he attempted – and failed – to create a new style of writing auto/biography.

交付決定額

（金額単位：円）

	直接経費	間接経費	合計
18年度	800,000	0	800,000
19年度	700,000	0	700,000
20年度	1,000,000	300,000	1,300,000
年度			
年度			
総計	2,500,000	300,000	2,800,000

研究分野：アメリカ文学

科研費の分科・細目：

キーワード：英米文学、アメリカ文学、アーネスト・ヘミングウェイ、死後出版作品、マニュスクリプト研究

1. 研究開始当初の背景

ヘミングウェイには、執筆をほぼ終えていながら、自伝的事実を含んでいるという理由で、生前の出版を頑なに拒んだ作品が6作品ある。そのうち5作品は彼の死後、遺族や出版社による編纂作業を経て断続的に刊行されたが、彼らの編纂は、タイトルの変更はおろか、総ページ数を半分にまで減らしたり、場面の順序を入れ替えるなど、非常に杜撰なものであった。

2. 研究の目的

上記の背景をきっかけに、本研究では、オリジナル原稿を復刻、出版本と細部にわたって比較することにより、遺族や出版社による編纂方法とその問題点を明らかにする。加えて自伝的アプローチを含む多角的な読みを行うことによって、後期ヘミングウェイ作品に対する新たな解釈を展開することを目的とする。

3. 研究の方法

本研究は3年間にわたって実施された。具体的な研究方法は以下の通り。

- (1) 編纂本をスキャナで取り込み、デジタル化する。
- (2) 米国ボストンにある JFK 図書館内「ヘミングウェイ・コレクション」に所蔵されているオリジナル原稿の中から、編纂本にはない箇所を探し出し、デジタル化された編纂本に組み入れていく。
- (3) 編纂本とオリジナル原稿を分析、語数・章構成・作品構成を図式化し、相違点を明確にする。
- (4) (3)の考察によって明らかとなる、遺族や出版社による編纂方法とその問題点を英語論文にまとめる。

4. 研究成果

本研究の申請時に予定していた調査・研究はすべて遂行できた。ヘミングウェイがフィクション／ノンフィクションのいずれにおいても、登場人物の名前や人稱を巧みに使い分けながら、直接的あるいは間接的に自身の姿を作品に塗りこめていく様が明らかとなった。また、こうしたヘミングウェイの試みが、オリジナル原稿には色濃く反映されていたにもかかわらず、第三者の編纂によって、末梢されてしまったことも明らかとなった。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計4件)

1. 杉本香織「*Islands in the Stream* の “Bimini” セクションにおける Auto/Biography 創造への試み——Charles Scribner, Jr.ら編纂の問題点——」『ヘミングウェイ研究』第8号(日本ヘミングウェイ協会、2007年8月)67-78. 単著、査読あり。
2. 杉本香織「ヘミングウェイの「デイヴィッド」、ジェンクスの「デイヴィッド」——『エデンの園』におけるトム・ジェンクス編纂の問題点』『アメリカ文学研究』第44号(日本アメリカ文学会、2008年)研究ノート、89-103. 単著、査読あり。
3. 杉本香織「「失われた」*A Moveable Feast*——Mary Hemingwayの編纂方法とその問題点——」『ヘミングウェイ研究』第9号(日本ヘミングウェイ協会、2008年8月)52-61. 単著、査読あり。
4. 杉本香織「“Ernesto”か“A worrier”か?——『危険な夏』のオリジナル原稿における自己分裂と“Ernest”の消滅』『文京学院大学外国語学部 文京学院短期大学紀要』第8号(文京学院大学総合研究所、2009年2月)235-48. 単著、査読あり。

[学会発表] (計2件)

1. 「『エデンの園』における時間の操作と「アフリカ」という記憶——トム・ジェンクス編纂の問題点」(日本アメリカ文学会東京支部9月例会、2006年9月30日)
2. 「「失われた」*A Moveable Feast*——Mary Hemingwayの編纂方法とその問題点」(日本アメリカ文学会全国大会、2007年10月13日)

[図書] (計0件)

[産業財産権]

○出願状況 (計0件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年月日：
国内外の別：

○取得状況（計0件）

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
取得年月日：
国内外の別：

〔その他〕
ホームページ等

6. 研究組織

(1) 研究代表者 杉本香織
研究者番号：70409613

(2) 研究分担者
なし

(3) 連携研究者
なし